

令和2年第4回議会定例会における行政概要報告書

(令和2年8月26日から令和2年11月20日まで)

1 市表彰式典について

11月14日に中央公民館において「市表彰式典」を行い、那珂市表彰規則に基づき、3団体59人（自治功労賞4人、功労賞49人、善行表彰3団体6人）を表彰したほか、詐欺被害防止や高齢者、迷子保護に尽力したかたなど4団体7人に感謝状を贈呈しました。さらに、今年は新型コロナウイルス感染症対策のため、支援物資の寄付をされた22団体10人のかたへも感謝状を贈呈しました。

2 市いじめ再調査委員会について

11月13日に「市いじめ再調査委員会」を開催し、那珂市における教育の現状について意見交換を行いました。

3 市自転車活用推進計画キックオフイベントについて

11月1日に那珂総合公園で開催された「2020ハーフセンチュリーいばらきサイクリング大会」において、9月に策定した那珂市自転車活用推進計画のキックオフイベントを開催し、ゲストサイクリストとして、絹代氏・日向涼子氏を迎え、モニターショーなどを実施しました。参加者は約200人でした。

また、市内の観光スポットを巡る約30kmの周遊コースを設定し、市の魅力を肌で感じていただくとともに、新たに作成した「那珂市サイクリングマップ」や参加賞として、市内の特産品を配布することで、市の情報発信やPRを実施しました。

4 行政活動外部評価について

本年度は、第2次那珂市総合計画（前期：平成30年度から令和4年度）の施策を外部評価の対象としました。総合計画の政策のひとつである「みんなで進める住みよいまちづくり」を実現するための4施策の中から1施策を選定し、施策評価シート（市職員による自己評価）を用いて外部評価を行いました。

今回の外部評価で委員からいただいたご意見・ご質問等を今後の施策の推進に役立ててまいります。

5 一般社団法人日本ムービングハウス協会と災害時の協力に関する協定を締結

10月1日に、災害時における応急仮設住宅建設協力に関することを旨とする「災害時における応急仮設住宅（移動式木造住宅）の建設に関する協定書」を、一般社団法人日本ムービングハウス協会と締結いたしました。

6 株式会社オウルテック及び株式会社 MOTTERU と災害時の協力に関する協定を締結

10月30日に、災害時における電子関連物品等の供給に関することを旨とする「災害時における電子関連物品等の供給に関する協定書」を、株式会社オウルテック及び株式会社 MOTTERU と締結いたしました。

7 男女共同参画啓発事業「落語で楽しく学ぶ！男女共同参画」について

1 1月3日、ふれあいセンターよこぼりにおいて、男女共同参画啓発事業として「落語で楽しく学ぶ！男女共同参画」と題した講演会を実施しました。講師は、現役の埼玉県鶴ヶ島市職員として勤務する傍ら、落語鑑賞の趣味を生かして男女共同参画を題材とした落語を創作し、全国で落語や歌を交えた口演活動を行っている千金亭 値千金^{せんきんていあた}さんで、当日も創作落語「ぴーていーえー」をはじめ、男女共同参画ミニ講座、男女共同参画をテーマにした替え歌等をご披露いただき、会場は終始笑いに包まれていました。参加者は、59人でした。

8 「おとう飯^{はん}始めよう」料理教室について

1 1月15日、中央公民館において、小学生のお子さんがいるお父さんを対象に「おとう飯始めよう」料理教室を開催しました。当日は、お手伝いとして参加したお子さんと協力して「豆腐のドライカレー」「サバボール」「ずんだ白玉だんご」の3品を作りました。皆さんの一生懸命作る姿が印象的でした。参加者は、7組の親子でした。

9 市保育士等人材バンクの開設について

市内の保育園及び認定こども園での就労を希望する者を支援し、保育の担い手の確保を図るため、保育士等の資格を有する人材の情報を登録する「市保育士等人材バンク」を10月より開設しました。

登録された情報により市内保育園等から直接登録者に連絡し、面接を行い、勤務条件等について合意が得られると採用が決定します。

この保育士等人材バンクを運営することで、子育てがひと段落してもう一度保育士として働きたい方などの支援を行ってまいります。

10 子育てフェスタについて

10月12日から16日までの5日間、地域子育て支援センターつぼみにおいて、「子育てフェスタ」を開催いたしました。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策として、フェスタの参加者をつぼみ利用者限定し、来場を予約制として実施しました。

また、茨城女子短期大学保育課の講師と生徒9名が2日間にわたりお面コーナーのブースを設け子どもたちと触れあったり、市民からフリーマーケットの出店協力があり、大いに盛り上がりました。フェスタの参加者は279名（こども158名 保護者121名）でした。

11 敬老行事について

9月15日から28日に、本年度の百歳達成者17人を訪問し、国、県からの褒状と記念品及び市からの記念品を贈呈しました。さらに、市内最高齢者2人及び米寿を迎えられた345人に、市から記念品を贈呈しました。

また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、全地区で敬老記念品配布事業を

実施し、対象者は8,996人でした。

12 市特産品ブランド認証品について

産業の振興と元気で活力あるまちづくりの取り組みの一つとして、平成26年度から「市特産品ブランド認証制度」を実施しています。

今年度も那珂市産の農作物を使用した加工食品などを新たに「市特産品ブランド認証品」として決定しました。

10月16日、市役所において「市特産品ブランド認証書授与式」を行い、今回認証された10商品の事業者に認証書を授与しました。昨年度までの認証品22商品と合わせ、32商品が市特産品ブランドとなりました。今後、市内外で認証品のPRをしていきます。

13 静峰ナイトシネマの開催について

10月17日、静峰ふるさと公園において「静峰ナイトシネマ」を開催しました。

雨天により上映は中止となりましたが、マルシェなどの出店ブースのほか、交流センター内で「那珂こども映画教室」が行われました。

「あまや座」の大内靖^{おおうちやすし}支配人を講師に迎え、ナカマロちゃんのぬいぐるみや雲などの背景を少しずつ動かして撮影する「コマ撮り」の手法を楽しみながら学びました。

14 リアル宝探しの開催について

11月14日から15日の2日間、静峰ふるさと公園において、「いばらきアマビエちゃん」の利用者登録など、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら、「リアル宝探し」を開催し、計1,256人が参加しました。

イベントは、宝の地図に描かれた謎を解読して、公園内に隠された宝箱を見つけ出す参加型の実体験ゲームで、家族連れなど多くの参加者で賑わい、楽しみながら公園の魅力を知っていただくことが出来ました。

15 市保幼小中連携協議会の開催について

10月20日、ひまわり幼稚園において、「市保幼小中連携協議会」を開催しました。新型コロナウイルス感染症拡大防止を想定した「新しい生活様式」の中での保育や教育、さらには、現在自粛している幼児教育施設と小中学校の連携事業について話し合いを行いました。委員からは、今後の幼児教育施設と小中学校の連携再開に向けた具体的な提案がなされ、共通理解を図りました。

16 ナカマロちゃん給食の提供について

市内産の新鮮な野菜を使った特別給食「ナカマロちゃん給食」を小学校は9月7日と11月24日、中学校は8月31日と11月6日に提供しました。献立は、小松菜を使用したおひたし、ナスとネギを使用した味噌汁、ジャガイモを使用したひまわりサラダのほか、ナカマロちゃんの絵柄が描かれたメンチカツやパッケージにナカマロちゃんのイラストが入ったぶどうゼリーを提供しました。給食をとおして旬の食材を

知り、地域の自然や文化、産業などに関する理解を深め、生きた教材として活用しました。

17 消防業務について

消防訓練指導については、事業所や学校等を対象として9回行い、298人が参加して、防火防災知識の習得と防火意識の向上を図りました。また、応急手当普及のため普通救命講習会等を1回行い、12人が修了しました。

火災出場件数については4件、救急出場件数については533件となっています。

西消防署の高規格救急車が更新配備され、11月18日より運用を開始しました。車内には最新の資器材も導入しており、この新型高規格救急車の配備により、更なる救命率の向上を目指し、市民の「安全・安心」を担って参ります。

令和元年10月12日から13日の2日間に到来した、東日本台風(台風第19号)に際し、延べ107名が出動し避難所への誘導、床下浸水家屋への土嚢積、増水河川の警戒及び巡回、水門操作、逃げ遅れ者を消防署員と共に人命救助、倒木撤去等の活動を行い被害の軽減に多大な貢献が認められ、9月4日総理大臣官邸において、那珂市消防団(住谷啓二^{すみやけいじ}団長)が令和2年防災功労者内閣総理大臣表彰を受けました。

18 市令和元年台風19号災害義援金の配分について

令和元年10月に日本列島を縦断した台風19号により被災された市民を支援することを目的に、義援金の募集を9月30日まで受け付け、総額で7,760,214円の寄付がありました。こちらについては、10月27日に第2回市災害義援金配分委員会を開催し、11月6日に14世帯へ2回目の配分を行いました。これをもって台風19号に関する市義援金の配分は終了となります。

令和2年11月27日

那珂市長 **先崎 光**